

第2次総合計画施策評価シート《令和3年度分》									
施策コード		基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち					
5 — 2		施策目標	2	道路・交通網の充実					
SDGs 連携分野		目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する							
		目標9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る							
		目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する							
									
目指すべきまちの姿			国道や県道、市道を中心にした道路ネットワークが充実し、鉄道やコミュニティバス等の公共交通の利用も進み、便利で安全・快適な移動手段が確保されています。						
●主要施策と概要【PLAN】				この1年間の成果及び反省点【DO】			担当課		評価 【CHECK】
（1）都市計画道路の整備 ・都市計画道路徳波通線をはじめとする都市計画道路の整備を計画的、効率的に進めます。				令和3年度は物件予備調査を実施しました。今後も主要な都市施設として都市の健全な発展のために整備を進める必要があります。また、国や県が整備する都市計画道路については今後も要望活動を実施します。			土木課		A
（2）都市計画道路の見直し ・社会・経済情勢の変化等をふまえ、都市計画道路の見直しを進めます。				都市計画道路の見直し内容について、愛知県及び関係機関と協議を行いました。			都市整備課		A
（3）コミュニティバスの利便性向上【重点施策】 〈再掲〉 ・市民生活に溶け込んだ移動手段を確保しながら、より効果的な運行体制にするため、地域公共交通網形成計画の見直しを行い、コミュニティバスの利便性の向上を図ります。				令和3年3月に地域公共交通計画を改訂しました。南部ルート公共交通網再編の一環として、通学・通勤に対応した市中心部に向かう南部地域急行バス第1期社会実験運行を実施しました。この実験結果を適切に評価し、地域に合った使いやすい公共交通網の再編を実施します。			市民協働課		B
（4）地域高規格道路の整備促進 ・一宮西港道路の早期の事業化に向け、関係自治体で国や県等の関係機関に対して、引き続き要望していきます。				一宮西港道路推進協議会で要望活動を実施し、概略ルート・構造の検討につき国による実施が決定しました。今後も要望活動を実施します。			土木課		A
（5）国・県道の整備促進 ・国道1号の4車線化及び桁下が低く、堤防が断面不足をしている尾張大橋の架け替えの早期事業化や名古屋第3環状線及び弥富名古屋線等の早期完了に向け、引き続き要望していきます。				国土交通省に対して4車線化及び尾張大橋の架け替えの要望を実施しました。また、名古屋第3環状線の整備促進の要望も実施しました。今後も要望活動を実施します。			土木課		A
（6）市道の整備 ・幹線道路の早期整備を進めるとともに、老朽化した道路施設を計画的かつ効率的に維持・管理します。				予定通り事業を実施しました。今後も市民生活の利便性並びに交通安全の向上のため道路整備を実施し、老朽化した道路を適切に維持・管理します。			土木課		A
（7）橋りょうの維持管理 ・定期点検において早期に修繕が必要と診断された橋りょうについて、修繕の優先順位を定め、計画的な修繕を図ります。				予定通り事業を実施しました。今後も重要度と緊急性を総合的に判断し、優先順位の高い橋りょうから修繕を実施します。			土木課		A
●施策目標に対する市民満足度						単位	現状値 (平成29年度)	目指す方向性	中間値 (令和4年度)
道路交通網の整備						%	31.3	↗	
コミュニティバス交通網の整備〈再掲〉						%	10.7	↗	
●成果指標		単位	現状値	各年度の実績値				目標値 (目指す方向性)	
			(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
（1）都市計画道路改良率		%	44.7	44.7	44.7	44.7		→	↗
（6）市道改良率		%	47.0	47.4	47.6	47.8		↗	↗
（6）市道舗装率		%	93.3	93.5	93.5	93.6		↗	↗
（7）橋りょう修繕箇所（累計）		橋	12	12	13	15		19	24

事業 No	実施計画に係る事業名	担当部署	今後の進め方【ACTION】	
(1)	都市計画道路穂波通線街路整備事業	土木課	引き続き穂波通線を整備していきます。令和5年度は用地買収・補償・道路工事を行っていくため予算は増額が見込まれます。県が進めている都市計画道路も整備を促進してもらうため要望を行っていきます。	現状維持
(3)	コミュニティバス運行事業（再掲）	市民協働課	令和3年3月に改訂した弥富市地域公共交通計画に沿って、地域特性や利用特性に応じた使いやすい地域公共交通網の形成のため、地域の意見を聞きながら、順次各ルートの公共交通網再編を行います。コミュニティバス以外のデマンド交通やタクシー利用も視野に入れ、再編を検討します。	改善
(6)	道路改良事業	土木課	今後も市民の要望や安全性に問題のある箇所への歩道設置など道路整備を進めていきます。鎌倉踏切・鎌倉308号線の歩道設置に向けた事業を進めており、4年程度の期間で各詳細設計を完了し、5年後、6年後に踏切改良工事・鎌倉1号橋の架け替え工事などを計画しています。多くの費用が必要となります。	現状維持
(7)	橋りょう整備事業	土木課	橋梁の点検を適切に進め、修繕の判定が出ている橋梁は、国庫補助金を活用しながら順次補修を行っていきます。今後も、橋梁の修繕については計画的に進めていきます。	現状維持
施策の今後の方針【ACTION】		国・県道など地域高規格道路等の整備については、各協議会等を通し、国・県への要望活動を継続していく必要があります。また、市道については、引き続き幹線道路や生活道路等の整備を進めるとともに、弥富市道路修繕計画や橋梁長寿命化修繕計画等に基づき、継続的に修繕していくことで、市民の安全性や利便性の向上を図っていく必要があります。コミュニティバスをはじめとする地域公共交通につきましては、地域の特性や実情に沿った公共交通網の編成を行っていく必要があります。		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(1)	都市計画道路穂波通線街路整備事業					土木課	土木グループ	令和4年7月14日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち					重点施策	
	施策目標	2	道路・交通網の充実						
	主要施策	1	都市計画道路の整備						
	主要事業		都市計画道路穂波通線街路整備事業						
SDGs 連携分野	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する								
	11 住み続けられるまちづくりを 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	都市計画道路の整備を計画的、効率的に進め、自動車交通の円滑化及び歩行者の安全確保を図ります。					主な協働・関連団体等			
事業概要	都市計画道路穂波通線の今後の整備予定地の買収を進めます。					関連する個別計画・根拠法令等			
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	物件調査委託料	3,080	物件調査委託料	3,700	物件調査委託料	5,000	用地費及び補償費	44,200		
	(補助額)	900	(補助額)	1,050	(補助額)	1,400	(補助額)	12,500		
							測量設計等	10,600		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)	3,000		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
合 計	3,080	合 計	3,700	合 計	5,000	合 計	54,800			
(補助額)	900	(補助額)	1,050	(補助額)	1,400	(補助額)	15,500			
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
(1) 都市計画道路改良率			%	44.7	44.7	44.7	44.7		→	↗
指標の分析	物件調査を実施しましたが、整備は行っていないため、改良率の変化はありませんでした。今後も都市の健全な発展のため、事業の推進に努めます。また、国や県が整備する都市計画道路については整備促進のための要望を行います。									
■事業の評価【CHECK】										
項目	評価視点				評価の結果					
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				都市計画道路に位置づけられおり、自動車交通の円滑化及び歩行者の安全確保のためにも、道路整備並びに歩道設置が必要です。					
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				物件調査については、令和4年度以降に実施する物件補償金を算出するための業務であり、適正に積算し入札を経て契約しました。コスト削減には繋がりませんが令和4年度以降の物件補償を適正に行うために実施しました。					
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか				道路管理者である市が実施します。					
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				道路整備及び歩道設置は市民の安全確保に繋がります。					
■今後の進め方【ACTION】										
課長意見								方向性		
引き続き穂波通線を整備していきます。令和5年度は用地買収・補償・道路工事を行っていくため予算は増額が見込まれます。 県が進めている都市計画道路も整備を促進してもらうため要望を行っていきます。								現状維持		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(3)	コミュニティバス運行事業（再掲）					市民協働課	交通防犯グループ	令和4年6月30日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち					重点施策	
	施策目標	2	道路・交通網の充実					○	
	主要施策	3	コミュニティバスの利便性向上						
	主要事業		コミュニティバス運行事業（再掲）						
SDGs 連携分野	目標3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する								
	目標9. 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る								
	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する								
	3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	通学・通勤から通院や買い物など、市民生活利便性の向上、高齢者を始めとする交通弱者の移動手段を確保します。					主な協働・関連団体等		弥富市地域公共交通活性化協議会	
事業概要	設定した3ルートにおいて、きんちゃんバスを運行します。 ・北部ルート2台 ・南部ルート2台 ・東部ルート1台					関連する個別計画・根拠法令等		弥富市地域公共交通計画	
事業の開始・終了	開始年度	平成24	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】										
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)		
	弥富市地域公共交通 活性化協議会負担金	110,144	弥富市地域公共交通 活性化協議会負担金	116,164	弥富市地域公共交通 活性化協議会負担金	110,000	弥富市地域公共交通 活性化協議会負担金	110,000		
	(補助額)		(補助額)	4,618	(補助額)	4,618	(補助額)	4,618		
	飛島公共交通バス運 行費負担金	1,000	飛島公共交通バス運 行費負担金	1,000	飛島公共交通バス運 行費負担金	1,000	飛島公共交通バス運 行費負担金	1,000		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	弥富市地域公共交通 活性化協議会委員報 償費	190	弥富市地域公共交通 活性化協議会委員報 償費	300	弥富市地域公共交通 活性化協議会委員報 償費	300	弥富市地域公共交通 活性化協議会委員報 償費	300		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
	その他(役務 費等)	75	その他(役務 費等)	88	その他(役務 費等)	88	その他(役務 費等)	88		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)			
(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)				
合 計	111,409	合 計	117,552	合 計	111,388	合 計	111,388			
(補助額)	0	(補助額)	4,618	(補助額)	4,618	(補助額)	4,618			
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)	
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和10年度
指標の分析										
■事業の評価【CHECK】										
項目	評価視点				評価の結果					
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				通学・通勤・通院・買物などの市民生活の移動手段の確保及び公共交通空白地域の解消のため、平成22年6月から公共交通としてコミュニティバスを運行しています。					
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				コミュニティバス南部ルートは、乗車時間が長く運行便数が少ないという問題があり、住民意見交換会でも数多くの意見が出されており、南部ルート公共交通網再編の一環として、通学・通勤に対応した市中心部に向かう南部地域急行バス第1期社会実験運行を実施しました。この実験結果を適切に評価し、地域に合った使いやすい公共交通網の再編を実施します。					
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか				コミュニティバスをはじめとした公共交通は、第2次弥富市総合計画、弥富市都市計画マスタープラン、弥富市立地適正化計画、弥富市総合交通戦略などの関連計画を踏まえ実施することが必要となり、市が地域の意見を聞きながら市全体における計画的な実施が必要となります。					
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				コミュニティバスを始めとした地域公共交通は、総合計画における防犯・交通安全対策の推進を図るために必要な事業です。					
■今後の進め方【ACTION】										
課長意見							方向性			
令和3年3月に改訂した弥富市地域公共交通計画に沿って、地域特性や利用特性に応じた使いやすい地域公共交通網の形成のため、地域の意見を聞きながら、順次各ルートの公共交通網再編を行います。コミュニティバス以外のデマンド交通やタクシー利用も視野に入れ、再編を検討します。							改善			

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(6)	道路改良事業					土木課	土木グループ	令和4年7月14日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち					重点施策	
	施策目標	2	道路・交通網の充実						
	主要施策	6	市道の整備						
	主要事業		道路改良事業						
SDGs 連携分野	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する								
	11 住み続けられるまちづくりを 								
■事業内容【PLAN】									
事業目的	安全で快適な道路環境を整え、老朽化した道路施設を計画的かつ効率的に維持管理することにより市民生活の利便性の向上を図ります。					主な協働・関連団体等			
事業概要	自転車歩行者道の整備とともに、狭小道路の拡幅整備を行います。 ・鍋平28号線 計画延長L=116m、計画幅員W=11.4～11.0m ・その他の市道整備 ・JR鎌倉踏切・鎌倉308号線設計 ・中央幹線設計 ・舗装工 14,000㎡ ・側溝工 1,800m					関連する個別計画・根拠法令等		弥富市道舗装修繕計画	
事業の開始・終了	開始年度	平成18	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】									
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	
	道路改良工事	77,332	道路改良工事	92,500	道路改良工事	86,000	道路改良工事	124,700	
	(補助額)	16,466	(補助額)	7,000	(補助額)	0	(補助額)	29,100	
	舗装工事	27,296	舗装工事	36,800	舗装工事	67,500	舗装工事	55,000	
	(補助額)		(補助額)	0	(補助額)	24,000	(補助額)	10,000	
	側溝工事	19,996	側溝工事	20,000	側溝工事	20,000	側溝工事	20,000	
	(補助額)		(補助額)	0	(補助額)	0	(補助額)	0	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	合 計	124,624	合 計	149,300	合 計	173,500	合 計	199,700	
	(補助額)	16,466	(補助額)	7,000	(補助額)	24,000	(補助額)	39,100	
成果指標			単位	現状値 (平成29年度)	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)
					令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 令和10年度
(6) 市道改良率			%	47.0	47.4	47.6	47.8		↗↗
(6) 市道舗装率			%	93.3	93.5	93.5	93.6		↗↗
指標の分析	市道整備の実施により市道改良率が向上しました。 今後も市民生活に必要な道路整備を実施します。								
■事業の評価【CHECK】									
項目	評価視点				評価の結果				
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか				道路の改良や補修は、市民生活にとって重要であり、 車・歩行者・自転車等すべての人が安全で快適に利用す るためには必要な事業です。				
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか ・コストの削減、費用対効果 ・執行体制の効率性 ・手段の最適性				計画的に適正な方法で改良・補修することで長寿命化を 図ります。				
妥当性	・市・住民・団体が誰が実施するのが良いか				道路管理者である市が実施します。				
施策への貢献度	・施策への貢献度 ・目標達成度 ・市民サービスへの効果				整備を要望されている箇所を重点的に、改良や補修する ことで安全で快適に通行できるよう努めます。				
■今後の進め方【ACTION】									
課長意見							方向性		
今後も市民の要望や安全性に問題のある箇所の歩道設置など道路整備を進めていきます。 鎌倉踏切・鎌倉308号線の歩道設置に向けた事業を進めており、4年程度の期間で各詳細設計 を完了し、5年後、6年後に踏切改良工事・鎌倉1号橋の架け替え工事などを計画していま す。多くの費用が必要となります。							現状維持		

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和3年度分》									
事業No	実施計画に係る事業名					課	グループ	作成日	
(7)	橋りょう整備事業					土木課	維持管理グループ	令和4年7月14日	
■総合計画の位置づけ									
基本計画	基本目標	5	【都市基盤】 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち					重点施策	
	施策目標	2	道路・交通網の充実						
	主要施策	7	橋りょうの維持管理						
	主要事業		橋りょう整備事業						
SDGs 連携分野	目標11. 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する								
									
■事業内容【PLAN】									
事業目的	安全に通行できる橋りょうを整備し、快適な市民生活の確保を目的とします。					主な協働・ 関連団体等			
事業概要	定期点検結果において、早期に修繕が必要と診断された橋りょうについて、修繕の優先順位を定めて弥富市橋梁長寿命化修繕計画及び弥富市橋梁個別施設計画に基づき、計画的な修繕・補強を行います。					関連する 個別計画・ 根拠法令等	弥富市橋梁長寿命化修繕計画		
							弥富市橋梁個別施設計画		
事業の開始・ 終了	開始年度	平成28	年度	終了年度	令和10	年度			

■事業費(単位:千円)【DO】									
事業内訳	令和3年度(実績)		令和3年度(計画)		令和4年度(計画)		令和5年度(計画)		
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	
	橋梁工事請負費	76,570	橋梁工事請負費	74,000	橋梁工事請負費	8,000	橋梁工事請負費	6,000	
	(補助額)	27,500	(補助額)	27,500	(補助額)	4,400	(補助額)	4,950	
	橋梁点検委託料	31,794	橋梁点検委託料	34,000	橋梁点検委託料	30,000	橋梁点検委託料	30,000	
	(補助額)	13,420	(補助額)	13,750	(補助額)	16,500	(補助額)	16,500	
	測量設計委託料	7,953	測量設計委託料	13,000	測量設計委託料	9,000	測量設計委託料	6,000	
	(補助額)	3,575	(補助額)	3,575	(補助額)	4,950	(補助額)	3,300	
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	(補助額)		(補助額)		(補助額)		(補助額)		
	合 計	116,317	合 計	121,000	合 計	47,000	合 計	42,000	
	(補助額)	44,495	(補助額)	44,825	(補助額)	25,850	(補助額)	24,750	
成果指標			単位	現状値	各年度の実績値				目標値(目指す方向性)
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 令和10年度
(7) 橋りょう修繕箇所(累計)			橋	12	12	13	15		19 24
指標の分析	各年度の点検結果も踏まえ、順次橋梁を計画どおりに修繕しています。								
■事業の評価【CHECK】									
項目	評価視点				評価の結果				
必要性	・ 住民のために効果的なものであり、求められているか ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要であるか				橋梁は市民や利用者が日常的に安全・安心に通行するために市民生活上必要なものであり、優先度を決め、点検及び修繕を順次行います。				
効率性	・ 前年に比べてどのように工夫したのか ・ コストの削減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性				設計段階で、経済性や事業効果等を検討し、補助金を活用しています。				
妥当性	・ 市・住民・団体が実施するのが良いか				管理者である市が自ら実施すべき事業です。				
施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果				橋梁は日常的に道路を通行するために必要なものであり、全市民に対する安心・安全のための事業です。				
■今後の進め方【ACTION】									
課長意見							方向性		
橋梁の点検を適切に進め、修繕の判定が出ている橋梁は、国庫補助金を活用しながら順次補修を行っていきます。今後も、橋梁の修繕については計画的に進めていきます。							現状維持		